



飯田には、私たち1人ひとりの「ムトス」がある。

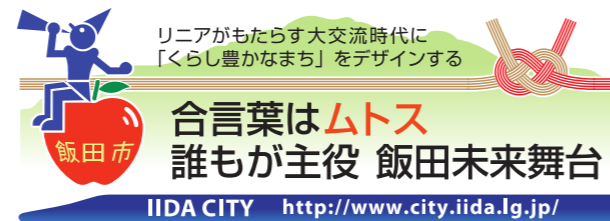
ムトスを合言葉に、誰もが主役のまちづくりが始まる。



[基本構想の期間] 平成29年度から平成40年度までの12年間

[人口の将来展望] 2028年／定住96,000人 交流156,000人
2045年／定住91,000人 交流182,000人

[基本的方向] 前期・中期・後期の4年単位



リニアがもたらす大交流時代に「くらし豊かなまち」をデザインする

いいだ未来デザイン 2028



合言葉はムトス
誰もが主役 飯田未来舞台

いいだ未来デザイン2028とは

「いいだ未来デザイン2028」は、平成29(2017)年度から平成40(2028)年度までの12年間を計画期間とする飯田市の新しい総合計画です。

総合計画とは、一般的に、長期にわたって総合的かつ計画的に行政運営を進めるため、市の政策を網羅的に位置づけて実施するものです。

しかし、人口減少問題などにより社会経済情勢が大きく変化する時代を迎え、先々の変化を予測しつづけた長期的な計画をつくるのが難しくなっています。

そこで、「いいだ未来デザイン2028」は、みんなが共有できる地域のビジョンを掲げ、その実現に向けて多様な主体がそれぞれの立場で「飯田の未来づくり」にチャレンジするための「指針」として策定したものです。

また、計画期間内に、戦略的かつ重点的な取組を積み重ね、着実に地域のビジョンを実現していく体系へと構成を改めています。

私たちの指針となる「いいだ未来デザイン2028」の概要をご覧ください。

キャッチフレーズ

リニアがもたらす大交流時代に「暮らし豊かなまち」をデザインする ～合言葉はムトス 誰もが主役 飯田未来舞台～

私たちは、常に時代の変化に対応し、私たちの知恵と力を結集させ、りんご並木に代表される自主自立の精神を基に、特色ある地域自治や環境への取組、経済自立度向上への挑戦など、飯田独自の仕組みをつくりだしてきました。

リニアがもたらす大交流時代を見据え、改めてムトスを合言葉として、いきいきと、「暮らし豊かなまち」と自らの思いをデザインできる、誰もが主役の「飯田未来舞台」をつくりたい。

※「ムトス」…広辞苑の最末尾の言葉「んとす」を引用したもので、「～しようとする」という意味であり、行動への意思や意欲を表す言葉として、飯田市が昭和57年「10万都市構想」において理想とする都市像の実現に向けた行動理念として使用しました。

※「経済自立度」…地域産業がもたらす波及 所得額と、地域が必要とする所得額を比較することにより、飯田・下伊那地域が地域産業により経済的に充足している度合いを示す指標をいいます。



私たち一人ひとりが持つムトス＝「愛する地域を想い、自分ができることからやってみよう」という自発的な意志や意欲により、具体的な行動で地域づくりを始めましょう！

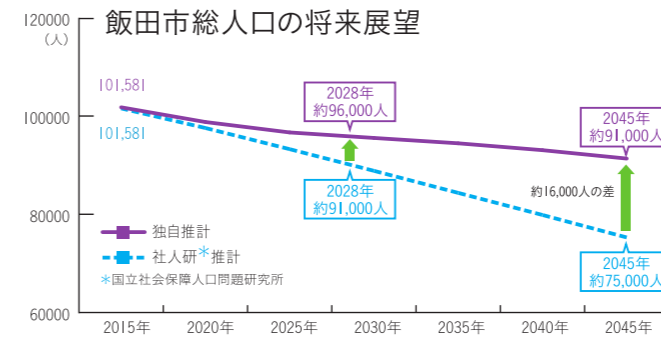
未来ビジョン

これまで飯田が培ってきた文化によって、飯田ならではの、飯田だからできる、みんなで作りたい「暮らしの姿」「まちの姿」を8つの姿として描きました。

12年後の未来の飯田に暮らす私たちが、それぞれの立場で未来ビジョンの実現を目指します！

- 私らしい暮らしのスタイルを楽しむまち
- 人と人がつながり、安全安心に暮らせるまち
- 健やかにいきいきと暮らせるまち
- 学びあいにより生きる力と文化を育むまち
- 地域の応援で子育ての幸せが実感できるまち
- 人と自然が共生する環境のまち
- 持続的で力強く自立するまち
- 地域の誇りと愛着で20地区の個性が輝くまち

人口ビジョン



人口ビジョンは、現状の人口動向の分析を踏まえて、私たちが将来どのような暮らしをしたいかを議論し、30年先を見据えた12年後の理想の地域のビジョンを描き、30年後と12年後の人口規模を定住人口と交流人口の2つの側面から展望しました。

いいだ未来デザイン2028を指針とする私たちの取組で、総人口を展望まで押し上げます！



人口の将来展望

	2028年	2045年
定住人口 飯田市に居住している人数	96,000人	91,000人
交流人口 定住人口に観光などあらゆる理由で飯田を訪れる人を加えた休日の飯田市の人数	156,000人	182,000人

地区別人口展望

市内20地区ごとに、人口変動が地域に与える影響や目指す地域の姿を確認し、その姿を実現するために必要な人口規模や必要な取組を話し合いました。

近年、個人の価値観が多様化し、自然や地域とのふれ合いを大切にしている地方の生き方が再評価され、「田園回帰」と呼ばれる新たな人の流れの動きがある中において、それぞれの地域が個性を磨き、魅力的な地域づくりを進めることが大切です。

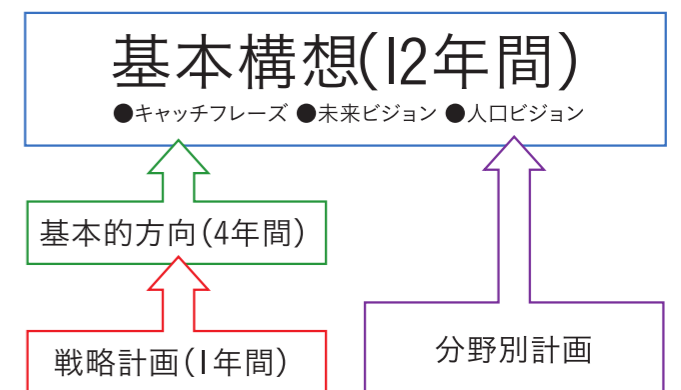
誰もが「住み続けたい、住んでみたい」と思う地域づくりに取り組みましょう！

基本的方向

1 若者が帰ってこられる産業をつくる	2 飯田市への人の流れをつくる	3 地育力が支える学び合いで、生きる力を持ち、心豊かな人材を育む
4 自然と歴史を守り、いかし伝え、新たな文化をつくりだす	5 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	6 「市民総健康」と「生涯現役」をめざす
7 共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる	8 新時代に向けたこれからの地域経営の仕組みをつくる	9 個性を尊重し、多様な価値観を認め合いながら交流する
10 豊かな自然と調和し、低炭素な暮らしをおくる	11 災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める	12 リニア時代を支える都市基盤を整備する

基本的方向は、地域のビジョン実現に向けて、前期・中期・後期の4年単位で戦略的かつ重点的に取り組むテーマを掲げています。

構成



先々の変化をすべて見通すことが難しい時代に対応するため、基本的方向のテーマに基づき、毎年、重点化した取組を「戦略計画」として策定します。